

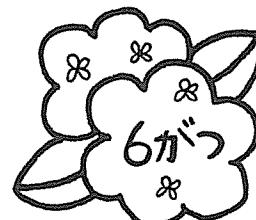
平保育園

# わんぱくはんたぐ 6

H27.06.30

6月に入り、天気が変わりやすい時期になりました。梅雨入りとはいっても、よく晴れた日が続き、子どもたちは外で遊ぶことができ、とても嬉しそうでした。

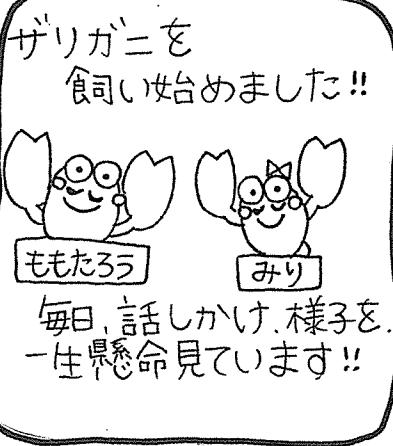
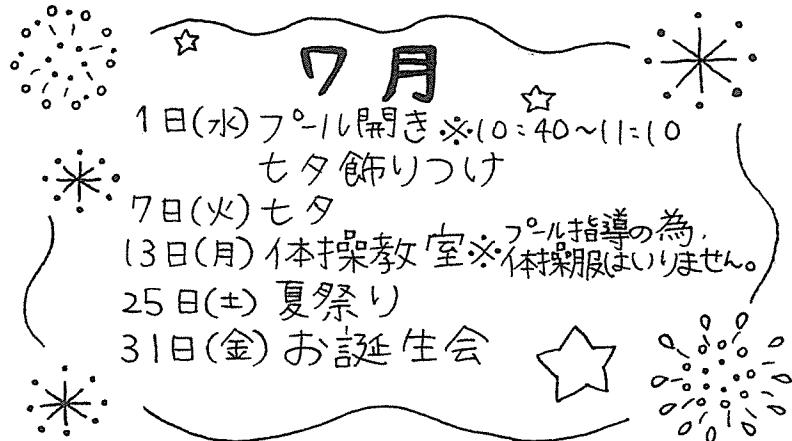
天候と共に、体調も崩しやすい時期になってきますので、子どもたちの体調管理にも、努めていきたいと思います。



- 個人懇談では、お忙しい中、お越しいただき、ありがとうございました。家庭での様子を聞いたり、保育園での様子をお伝えすることができ、良かったです。

今後も、お気付きの点、気になる点、がありましたら、その都度、おしゃって下さい。

- 朝のお集まり後、幼児3クラス合同で、過ごしています。月・水・金が、マットや鉄棒、平均台などの運動遊びの時間、火・木が、リズムの時間です。異年齢で行うことで、年長児からの刺激を受け、新たな技に挑戦したり、年少児の手本になろうと、苦手なことにも、挑戦したりする姿が見られています。さらなる成長が楽しみです!!



ザリガニを  
食い始めました!!

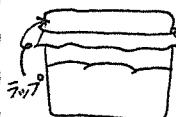
毎日、話しかけ、様子を  
一生懸命見ています!!

## アリのかんさつ

先月のアリの巣作り、観察から、中の様子がよく見えるようだ、透明な容器が、お家や、園にないか、問い合わせてみました。すると、戸外遊びの時、発見!!

→それは、飼育用の水槽でした。次の日、アリの巣作りに再チャレンジ!!

### 第3回目…石少は、どんな石少が良いかな?



『アリさんが運ぶの大変だから、石はない方が良い!』

『白砂は、さらさらやから、すぐに崩れてしまいそうやし。』

『黒砂や、たら、崩れんから良さそう!』

↓  
黒石少の  
さら石少!!

→水槽に、アリたちを入れてすぐ、変化が見られ始めました!!

→アリたちは、忙しく歩き回り、小石を運び、水槽の側面に巣を作り始めました!!

それは、子どもたちにも、よく分かり、大興奮でした。

→巣は一日一日長くなり、毎朝、アリの巣を確認する子どもたちでした。

? アリはエサを食べているの? 巣に持っているの?

→これまで、細かいスティックシュガーを入れていたので、分かりやすいよう、色がついているエサを考え、エサの動き、アリの様子を見てみました。

### 第4回目… その日は運悪く、夜も気温が高い日で、次の日には、エサに



カビが…それを食べたせいか、明らかに、元気のないアリさんたち…

エサの実験は断念し、元の家にバイバイすることにしました。

### まとめ。エピソード。

当初の目標の、アリの巣がどんなものなのか見ることができ、子どもたちは大喜びでした。ただ、それ以降は、小さなアリがゆえに、肉眼で確認し、追及していくのは、難しかったです。

今回のアリの観察を通して、子どもたちは、生き物に対する愛着を形成していました。優しく話しかけたり、元気がないと、じ配したりする声も聞かれました。また、アリについての本を部屋に置いておくと、自分たちで調べ、字が読めなくても、絵から、情報を得て、知識としていました。

園庭の中央を歩いているアリを見つけたAちゃん。

Aちゃん「わ!こんな所にアリさんがいる!もう危ないのにー」

そう言って、歩いているアリを捕まえ、端っこに移動させてあげました。

この姿から、生き物に対する愛着、思いやりの気持ちが芽生えていることを感じます。